

# きょうたなべ のうぎょう委員会だより

2014.11 発行  
秋号  
会  
報 第68号  
委員  
アイデア

府内最多  
農業委員改選

女性委員

# 5人

## 新たなスタート!!

たなくらひこ  
棚倉孫神社

10月11日、田辺地区にある棚倉孫神社で色とりどりの野菜や穀物に彩られた子ども神輿が境内に祭られました(=写真)。同神社では2年に1度、五穀豊穡を願い保存会のみなさんの手で、ずいき神輿の巡行を行っています。子ども神輿は、ずいき神輿の巡行がない

年にも地域の交流ができるようにと、隔年で始められました。

京都府最多となった5人の女性農業委員もこの行事に参加。農作物に彩られた神輿や元気な子どもたちに負けない、華やかで活発な農業委員会を目指します。



2p~3p

京田辺市農業委員が改選

4p

農業委員会「活動方針」

5p

きょうたなべ知っとこお茶事情

6p

まちの農業共同施設

7p

農林業センサスにご協力を

レモンサポーター募集

7p

農地を相続したときは手続きを

全国農業新聞を購読しませんか

豊かな老後に農業者年金

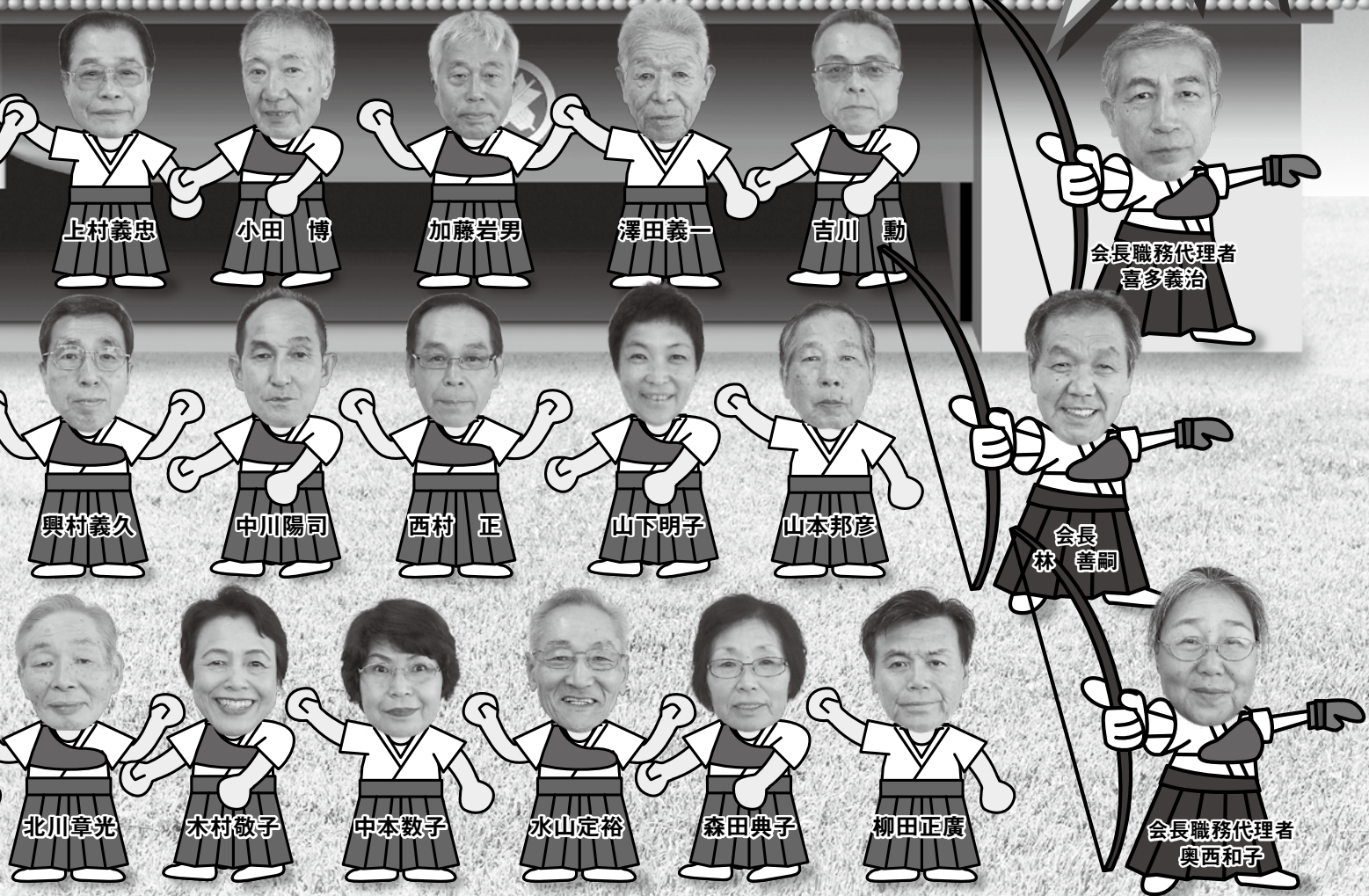
「村」普賢寺地区

プレゼントクイズ

編集後記

# 一決定!!

# 折れない3本の矢で 農業・農地を守る!



## 会長就任にあたって 林 善嗣 (山本)

農業委員諸先輩の指導、また農業者、市等関係機関の皆様の指導・協力を得ながら再び会長の重責を担うこととなりました。

農業・農村を取り巻く状況は、「環太平洋戦略的経済協定（TPP）」問題、農地集約化による10年後の所得倍増等を目指した「農林水産業・地域の活力創造プラン」など国が進める農業施策の大きな転換、足下を見ますと農業従事者の高齢化、後継者不足の顕著化など厳しいものがあります。

このような現状のなかで、改めて京田辺市の農業の将来を考えますと、今一度皆で知恵を絞って既存の農家が離農しなくて、跡を継ぐ事の出来る「儲かる農業」への取り組みを進めていかなければならない重要な時期であると考えております。

その一方、市民の減農薬や食の安全・安心、地場産農作物に対する関心は非常に強いものがあります。

これをふまえ、国の改革による農業の大規模化、法人化をただ進めるだけでなく、地域の農業環境や消費者の様々なニーズに合った積極的で持続可能な取り組みが必要だと思えます。

今、農業委員会で取り組んでいる遊休農地解消「レモンプロジェクト」や米の6次産業化「米粉パン」、米粉の加工品」などの取り組みはその挑戦でもあります。今後は地域の気候風土に合った果樹・花卉（かき）等の特産物の掘り起こし、6次産業化による付加価値を付ける取り組みで荒廃農地をなくす「1石3鳥」とまではいなくても、様々な形の「1石2鳥」で農業経営の底上げに結びつけたいと考えます。

これからも、私たち農業委員は地域住民と共に農地を守り、力強い農業の自立に向け積極的に活動を展開してまいります。

## 新農業委員の意気込み (50音順)

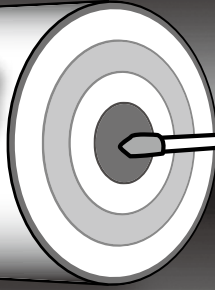
**井上照雄 松井**  
遊休農地の解消、緑豊かな環境づくりに努力していきます。

**香村侃彦 田辺**  
都市近郊農家の一人として、付加価値のある作物と有利性の高い経営を模索しています。

**堀江幸和 水取**  
荒廃地をなくし地域で優良農地に再生。親しみのある、わかるのうぎよう委員会だよりを作っていきます。

## 農地部会

耕作放棄地・違反転用を指導・改善！



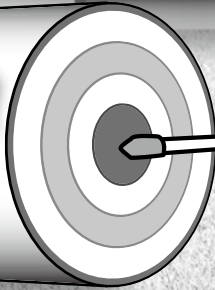
部会長  
中村英夫



副部会長  
松本好次

## 農政部会

農業者にやさしい政策の実現！



部会長  
中西 稔



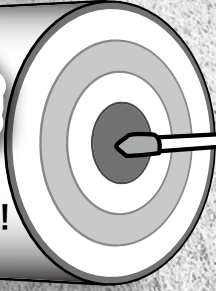
副部会長  
藤田喜一



木田光彦

## 広報実行委員会

もうかる農業実現へ向け  
よりよい地域の農を周知！



委員長  
堀江幸和



副委員長  
香村侃彦



井上照雄

**木村敬子** 興戸  
農業をもっと理解して皆様の役に立てるように、色々と勉強していきます。

**木田光彦** 松井  
一連の農業問題に抜本改革の必要性を感じます。知恵を絞り、誇り高き故郷の農業を目指します。

**北川章光** 西八  
少子高齢化・TPP問題など、農業環境は課題が山積みですが、明るい方向に進めるよう願っています。

**喜多義治** 薪  
荒廃農地への果樹栽培を推進し、関係機関と共に6次産業を目指します。

**加藤若男** 打田  
山間地農業の維持・継続に取り組みます。

**小田博** 東林  
古希を迎える歳となりましたが、もうかる・夢がある農業を目指します。

**奥西和子** 草内  
今回も、議会の推薦をいただきました。61歳、努力してやらせていただきます。

**上村義忠** 東  
再任です。引き続き遊休荒廃農地の解消を図り、地域から力強い農業を目指します。

**藤田喜一** 草内  
良質米・えびいも栽培・温泉めぐりに全力投球

**西村 正三野**  
次の世代まで緑の多い田園都市を守り荒廃地のない農業に取り組みます。

**中本数子** 河原  
緑豊かで大好きな田園風景を守り、地域農業発展のために6次産業化に努めます。

**中村英夫** 田辺  
高齢者ですが、農業者として楽しい生活をしていくかを考えていきます。

**中西 稔** 天王  
農業を続けることが、私たちが生き延びる術です。たくさんの後継者を育てよう。

**中川陽司** 山崎  
地域の農地を守り、農業の発展に力を注ぎます。

**澤田義一** 田辺  
後継者もできて明るい、楽しい農業に取り組み、ナス・米作に努力します。

**興村義久** 興戸  
農業環境は厳しいですが、次世代につながる農業を目指して頑張ります。

**吉川 勲** 宮津  
新人委員です。少しでも早く先輩委員に近づけるよう努力していきたいと思っています。

**山下明子** 普賢寺  
今ある農地を減らさないよう、地域農業発展のためがんばります。

**山本邦彦** 薪  
小規模農家が多い京田辺。都市近郊を生かしたやりがいのある農業を目指します。

**柳田正廣** 飯岡  
マイペースで農業をしている新人です。地域農業の振興発展に努めます。

**森田典子** 高船  
行動する農業委員会、特産品づくりによる地域の活性化をはかっていきたいです。

**水山定裕** 南山西  
おいしくて、農業を使わない農産物の生産を目指します。

**松本好次** 天王  
少子高齢化で中山間地の農地保全は深刻な課題。何ができるか模索したい。



# 京田辺市農業委員会「活動方針」

(平成26年～29年)

11月15日(土)

直喜多  
林  
日奥西

今日、我が国の農業・農村をめぐる情勢は、農業の国際化の進展、TPP問題を巡る動向など

先行きの見えにくい状況の中、担い手の高齢化や後継者問題、台風・ゲリラ豪雨などの予期せぬ自然現象による被害、耕作放棄地の増加など、多くの複雑で困難な課題に直面しています。

しかしながら、その一方では、若い担い手の就農や農業法人などによる6次産業化の経営展開など、足腰の強い農業づくりの芽吹きもみられます。

こうした中でわれわれ農業委員会は、かけがえのない農地を守り、力強い農業を作る架け橋となり、優良農地の有効利用や担い手の確保を行い「農地を活かし、担い手を応援する運動」を十分に推進しなければなりません。

このためには農業委員が意思統一を図り、農業者の代表としての自覚と誇りを持って行動する農業委員会としての実践活動を、より一層強化しなければならないと考え、今後二年間の任期中の活動の柱となる「活動方針」を平成26年10月の農業委員会において決定し、積極的に活動を展開します。

## 一 地域農業の担い手や農作業受託組織の育成を応援します。

農業者の高齢化等による労働力不足に対応するため、府、市、JA京都やましろ等農業関係機関と連携を図りながら、地域の農業者と話し合いの場を持ち、担い手・後継者・新規就農者の育成や農作業受託組織づくりに協力します。

## 二 農地行政の適正な執行を引き続き行います。

農業者を代表する機関として、農地の権利移動や転用許可等法令業務について、現地調査を行い厳正かつ公正な審査をします。

## 三 遊休荒廃農地の解消に取り組みます。

遊休荒廃農地については、各地域の農業委員が所有者と話し合いの場を持ち、農地バンクなども活用し、認定農業者等の担い手に農地の利用集積を積極的に推進することにより、遊休荒廃農地の解消を図ります。また、地域の農家組合等とも連携し、

## 四 情報の提供に努めます。

各地域にレモンをはじめとした見本田を設置し、遊休荒廃農地発生防止や啓発に取り組みます。

農業委員会が農業者にとって身近な組織となるよう「のうぎょう委員会だより」等を活用し、農業施策等に関する情報を発信するとともに、広く意見も求めていきます。

## 五 地域特産物の育成や地産地消を推進します。

儲かる農業を目指して、各地域で地元に適した魅力ある農産物、付加価値の高いブランド力のある農作物を模索する取り組みと、安心・安全な農作物による地産地消を推進します。

## 六 持続的な農業が展開できる環境づくりを目指します。

農業者が持続的な農業を展開できるよう、補助金の対象となる事業を積極的に利用できる環境づくりを目指します。



# 世界に向けて発信 もうかる農業へ はばたく京田辺!

本市は高級茶の生産地で、特に玉露は全国茶品評会・関西茶品評会などの大会で毎年上位を獲得し高い評価を得ています。

いま、日本のみならず世界も視野に入れて盛り上がる京田辺のお茶事情を紹介します。

▼玉露は覆いで日光を遮って育てます。気温・雨量・肥料など環境の微妙な変化が味を大きく左右します。また「京田辺玉露」の味の決め手は、丁寧な手摘みにあります。毎年茶摘ボランティアを募集し、収穫します。



京田辺市茶まつり

▲日本茶の最高級品である玉露は、手もみ技術も魅力。



▶ジェトロ職員から、海外市場の動向や海外展開のノウハウなど輸出に向けた説明を受ける市内茶業関係者のみなさん。

## 玉露の魅力を伝える 京田辺玉露レディも誕生

茶農家さんたちが一生懸命つくった京田辺玉露を、私たち5人がPRします!



井川恵梨香さん

清水瑠南さん

小池千明さん

堀二二三さん

伊田知代さん

### 若手が主役!

知名度アップでお茶のおいしさ広めたい

市には、京田辺茶業青年団という若手茶業関係者が組織する団体があり、京田辺のお茶の知名度を上げるためにさまざまな取り組みを行っています。毎年、酬恩庵一休寺で玉露の試飲や手もみ実演を行う「京田辺市茶まつり(写真⑤)」や「京田辺玉露レディ(写真④)」など、自分たちが生産するお茶を知ってもらう機会を積極的に増やしています。

「京田辺のお茶のおいしさを世界に広めていきたい」と話すのは、日本茶鑑定士最高位を持つ団長の小林裕さん(39)。生産者の高齢化・担い手不足が問題となっている農業の世界ですが、京田辺市では熱い思いを持った若手たちが前向きに頑張っています。

### 玉露を世界に! 海外へ売り込み販路拡大へ

もうかる農業を実現するために、重要な課題となる販路の拡大。今年、日本企業の海外展開などを支援する「日本貿易振興機構(ジェトロ)」が、平成26年から進めている「二県一支援プログラム」の京都府代表として、京田辺玉露が選ばれました。

そこで市内の茶業関係者は、ジェトロの協力を得ながら中国・EU・ロシアなどの裕福層をターゲットとした玉露の海外輸出に向けて挑戦しています。

海外に輸出することで産地の価値や玉露の単価を上げ、担い手となる若手の生産者にとって魅力とやりがいのある仕事にしたい。京田辺の玉露が世界に羽ばたくのも近い将来かもしれません。



京田辺茶業青年団 団長  
小林 裕さん

# 農業 シーズ①

## まちの共同施設

京田辺市には、お米の収穫に必要な高額・大規模な機材を、地域で共同利用する施設が5カ所（松井・飯岡・水取・天王・打田）あります。農作業だけでなく、農家の交流の場としても重要なこの施設をシリーズで紹介します。



センターの見学では、普段見ることのない大きな設備の数々に、子どもたちも興味津々

また、生産力を増強し労働生産性を高めるため、水田農業経営の近代化に取り組んでいます。農業者の高齢化・担い手の減少を視野に、水田作の作業（耕起代かき・田植え・草刈・刈り取り）がつかなくなってきた農家が、余裕のある農家へ作業を委託するシステムをつくることで、地域の荒廃農地を少しでも解消していきたいと考えています。

水取地区で毎年10月に行われる稲刈り体験には、地域の子どもたちなどが参加します。体験後にはセンターの中に入ってもらい、お米に関わる大きな機械を見てもらいながら、お米（玄米）ができるまでの仕組みを説明しています。興味のある方は、ぜひ参加してみたいかがですか。（堀江幸和委員）

**水取の農業を支える 自然を生かす環境施設**

水取ライスセンターは、水取地区の農地有効利用・優良農地の確保やたくさんの方が訪れることができるふるさとづくりなどを目的に、農業施設建設などの費用を補助する農村地域農業構造改善事業の一環として平成2年に建てられました。地域の農家が共同で利用できる、寄り合いの場として親しまれています。

## 水取

### ライスセンター

水取



施設の中は精米機などの機材がずらりと並び、きれいに整頓・管理されています。



## 未来の農林業を育てる統計調査が始まります

# 2015年 農林業センサス

平成27年 2月1日

**農林業センサスとは**

農林業や農山村の現状と変化を的確に捉えるために、5年ごとに農林業を営む全農家・林家・法人を対象に行う『農林業の国勢調査』ともいうべき調査です。調査データは、農林業に関わる政策方針や交付金の算定資料などに使われます。

## 5年に一度の 大切な調査です!

農林水産省は、2015年農林業センサスを行います。この調査の結果は、今後の農林行政の企画・立案・推進などに活用する基礎資料となる重要な調査です。

平成27年1月中旬から、調査員が自宅などに伺いますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

問合せ先＝総務部総務室 ☎0774-64-1337



# レモンプロジェクト サポーター募集中!

未来の特産品をつくらう!!

## ●レモンサポーター(登録制)要件●

随時受け付けています!

【ほ場場所】 興戸十曾地内(防賀川公園南側の畑)

【対象】 市内に在住し、メールアドレスを所有する人 ※ほ場管理日などの通知は電子メールで行います。

【内容】 ・日常、散歩などでレモン苗の様子を確認。異状などがあった場合は農業委員や事務局へ報告。  
・農業委員による定期的なほ場の管理を行う日程にあわせて、草むしりなどの軽作業を手伝ってください。  
・将来的には、レモン収穫後に行う加工・販売についての企画・立案へ参画してください。

【報酬】 無償

【申込方法】 「レモンサポーター募集」・氏名(ふりがな)・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを書いて、持参・郵送・電話・FAX・電子メールで申し込んでください。

【問合せ先】 農業委員会事務局 (☎0774-64-1368・FAX0774-64-1359)

農業委員会では、遊休農地の有効利用や京田辺市の新しい特産品づくりを目指し、レモンの苗木「とんちレモン48」を育てています。

毎月1回、農業委員が当番で管理を

しています。みなさんも、一緒にレモンのお世話を手伝ってください。ほ場の管理日には農業委員がいますので、農作物のアドバイスや農業のちょっとしたコツも教えてもらえます。

すくすくと  
育っています。

## ほ場の管理を手伝ってもらいました!

強い日差しが照りつける8月、レモン苗のまわりに茂りだした雑草を刈り取るため、レモンサポーターが初出勤しました。

レモンのほ場では、草刈り機が使えない苗まわりの雑草を手作業で入念に除草。作業が終わった後は、当番の農業委員とともにレモンや農業の話で盛り上がりました。サポーターの山本敏夫さんは「ほ場の管理は、市の将来を担う名産品を作る目的があるのでやりがいがありますよ」と、話してくれました。



草刈り機ではできない苗まわりの草を手作業で抜く山本さん

ただいま  
約160cm



家族・非農家も  
楽しめる新聞です。

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供。農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

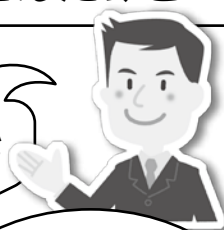
■毎週金曜日発行 ■B3版8ページ  
■月額600円(送料、消費税込) ■購読のお申し込みは、農業委員会事務局へ ■発行所：全国農業会議所

全国農業新聞



農地を相続したんだけど...

農業委員会に届出を  
してください。



農地法では...

相続などで農地の権利を取得したときは、農業委員会に届出をしなければならぬと定められています。

相続した農地は  
耕作・管理が必要。  
借り手を探したいなどの  
相談は農業委員会へ!

対象者

農地法の許可を要せずに農地の権利を取得した人

- 相続
- 法人の合併
- 時効など



豊かな老後生活のために  
加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

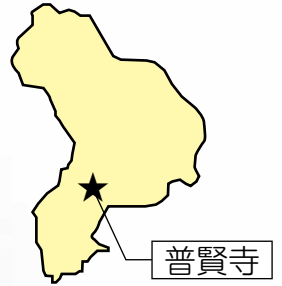
1. 農業者なら広く加入できる
  2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
  3. 保険料の国庫補助
  4. 保険料は自由に選択
  5. 税制面で大きな優遇
  6. 80歳までの保証がついた終身年金
- くわしくは農業委員会事務局まで



くわしくは農業委員会事務局まで (☎0774-64-1368)



## 普賢寺地区



普賢寺地区農業委員  
山下 明子 委員

# みどりと人の和

# 美と味覚の回廊

旧普賢寺村地域は市の南西部に位置し、奈良県・大阪府と三國峠をはさんで隣接する旧村6地区(多々羅・普賢寺・水取・天王・高船・打田)からなる農村地域です。集落の半数は傾斜地の中山間地域ですが、普賢寺地区は平地にあります。おいしい玉露やお米がとれるのが自慢です。近隣の地名に水取や氷室・湯屋谷・火の滝など水にまつわる地名が多いことから、この地域が水に恵まれていたことがうかがえます。

江戸中期の画家である伊藤若冲(いとうじゃくちゆう)が、人生の終末期にこの地で晩年をすごされたと伝えられています。京都錦小路にある青物問屋の長男だった若冲は、自分の描いた絵とお米を交換しながら生活されていたそうです。

地域内にある大御堂観音寺に

は、国宝に指定されている十一面観音立像が安置されています。また、「お水取り」の名で知られる東大寺・二月堂の修二会(しゅにえ)の行法を始められた実忠和尚(じつちゅうかしょう)ゆかりの寺としても知られています。お水取りで使いたいまつ軸には、普賢寺の竹林から掘り出された根付きの竹も使われるため奉納しています。この「竹送り」の行事は毎年2月11日(祝)の早朝に大御堂観音寺で行います。誰でも参加自由で奉納する竹を担いで歩くことができますので、体験してみたいかがでしょうか。

普賢寺地区には自然の恵みと人の和があります。この地を肌で感じて頂ければ、どうしてお茶やお米・野菜がおいしいのかがすぐに分かりますよ。ぜひ一回来てみて!!



## 今号のクイズ

京都府内で最多となった市女性農業委員の人数は??

答え



○に入るクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・のうぎょう委員会だよりへのご意見・ご感想を書いて、メール・郵送・持参で応募してください。クイズの正解・当選者は、次号で発表します。

応募期限=平成26年12月19日(金)まで(当日消印有効)

発送予定時期=同27年2月上旬頃

郵送先=農業委員会事務局

(〒610-0393(住所不要)、

メールアドレス: nougyo@kyotanabe.jp)

件名には「農業委員会クイズ」と

記入してください。

前回の正解は

河原地区でした!

●当選者.....  
A・Mさん T・Yさん W・Iさん



## プレゼントクイズ

正解者の中から

5名の方に

京田辺市の名産品

玉露プレゼント



## 編集後記

農業委員  
木村 敬子



農業委員になって4カ月。何をどうしたらいいのかわからないなりに、女性が積極的に参加できる農業体制を作ってい

たいと思っています。皆様と共にアイデアを出して頑張ります。

